

2024年度 決算説明会

2025年5月9日

ブラザー工業株式会社

執行役員財務担当 中島 聡

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

- **業績ハイライト**
- **2024年度 通期業績**
- **2025年度 業績予想**
- **財務の状況/キャッシュ・フロー/設備投資・償却費/研究開発費**
- **株主還元**
- **社長メッセージ**
- **Appendix**
 - 2024年度 第4四半期（1-3月期）業績
 - セグメント業績概要（2024年度 通期業績）
 - セグメント業績概要（2025年度 業績予想）

業績ハイライト

2024年度 通期業績

売上収益 8,766億円/ +6.5% (前年比)

- ・ P&S事業において本体・消耗品ともに堅調に推移するとともに、マシナリー、P&H、ドミノ事業などの売上が伸長
- ・ これらに為替のプラス影響も加わり、売上収益は過去最高を更新

事業セグメント利益 777億円/ +2.8% (前年比)

- ・ 主に人件費を中心とした販管費が大幅に増加したものの、P&S事業における価格対応の効果に為替のプラス影響なども加わり、増益となる

営業利益 699億円/ +40.4% (前年比)

- ・ 前年度に計上したドミノ事業におけるのれんの一部の減損損失がなくなったことなどにより、大幅な増益となる

親会社当期利益 548億円/ +73.1% (前年比)

2025年度 通期業績予想

売上収益 8,750億円/ ▲0.2% (前年比)**事業セグメント利益** 750億円/ ▲3.5% (前年比)

- ・ 為替レートを2024年度に対し円高に設定したことによるマイナス影響と、米国関税政策の影響を織り込むものの、売上収益、各段階利益ともに前年並みの水準を確保する
- ・ 中期戦略「CS B2027」で掲げた成長投資は着実に実行し、マシナリー事業を中心とした産業用領域の成長と、P&S事業の収益性維持を目指す

株主還元

- ・ 2024年度の1株当たり年間配当は、100円を予定（前年比16円増配）
- ・ 2025年度の1株当たり年間配当は、100円を予定
- ・ 200億円を上限として自己株式の取得を実施

2024年度 通期業績

主にP&S事業における売上増や為替のプラス影響により、売上収益は過去最高を更新し、各段階利益も増益となる。
営業利益以下は、前年度に計上したドミノ事業におけるのれんの一部の減損損失がなくなったことなどにより、
大幅な増益となる

(億円)

	23年度 実績	24年度 実績	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率	前回予想	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	8,229	8,766	536 (300)	6.5% (3.6%)	8,750	15 (▲27)	0.2% (▲0.3%)
事業セグメント利益	756	777	21 (▲46)	2.8% (▲6.0%)	800	▲23 (▲24)	▲2.9% (▲3.0%)
事業セグメント利益率	9.2%	8.9%			9.1%		
その他の収益・費用	▲258	▲78	180		▲40	▲38	
営業利益	498	699	201	40.4%	760	▲61	▲8.0%
営業利益率	6.1%	8.0%			8.7%		
税引前利益	525	747	222	42.2%	800	▲53	▲6.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	316	548	231	73.1%	570	▲22	▲3.9%
USD	144.40	152.48	8.08		152.06	0.42	
EUR	156.80	163.62	6.82		163.38	0.24	

■ 為替感応度 (1円の円安で年間業績に与える影響) (億円)

(24年度実績)	売上収益	事業セグメント利益
USD	15	▲2
EUR	11	10

(億円)

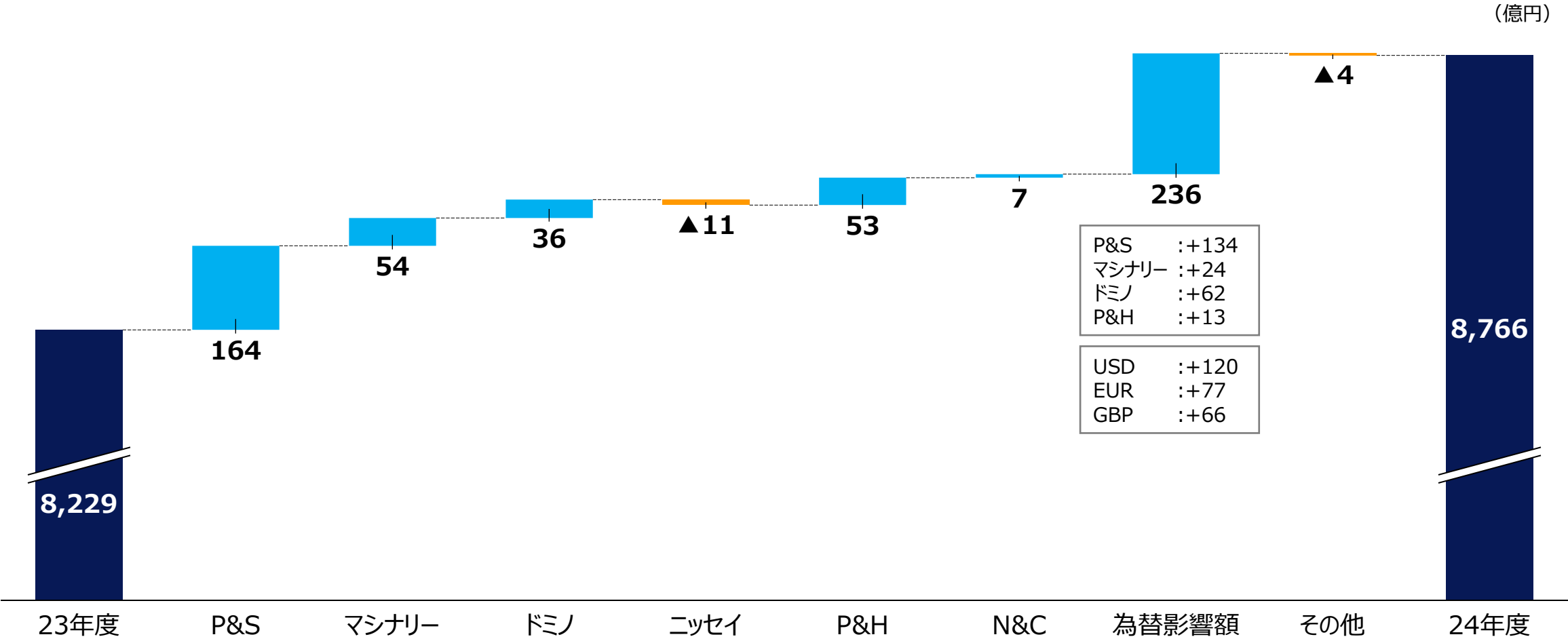
売上収益				事業セグメント利益				営業利益			
	23年度 実績	24年度 実績	増減	23年度 実績	24年度 実績	増減		23年度 実績	24年度 実績	増減	
P&S	5,149	5,448	299	625	610	▲15		610	589	▲21	
マシナリー	774	852	78	22	9	▲14		23	8	▲15	
ドミノ	1,096	1,194	98	51	54	4		▲241	36	276	
ニッセイ	208	200	▲8	10	5	▲5		10	0	▲10	
P&H	505	572	67	25	73	48		25	67	42	
N&C	381	388	7	16	19	3		17	20	3	
その他	116	111	▲4	6	7	1		54	▲20	▲74	
合計	8,229	8,766	536	756	777	21		498	699	201	

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

2024年度 事業別振り返り（為替影響を除いた実質ベース）（対前年で 青字：ポジティブ 赤字：ネガティブ）

P&S	[通信・プリンティング機器] 製品本体：レーザーは主に欧州における市況低迷や供給制約の影響を受け販売が減少したものの、インクジェットは販売が伸長 消耗品：価格対応の効果などにより総じて堅調に推移 [ラベリング] 汎用ラベリングの販売は減少したものの、業務用ラベリングの販売は本体・消耗品ともに堅調に推移 消耗品の価格対応の効果などがあったものの、主に人件費を中心とした販管費が大幅に増加したことにより減益
マシナリー	[産業機器] 中国・アジアを中心に設備投資需要が緩やかに回復し、増収 [工業用ミシン] ガーメントプリンター：主に欧米での販売が減少 工業用ミシン：アジアのアパレル向け設備投資需要が回復し販売が増加 増収となったものの、販管費の増加やミックスの変化などにより、大幅な減益
ドミノ	- 設備投資需要が軟調に推移し、製品本体の販売が減少したものの、消耗品の販売が底堅く推移し、増収 - 事業セグメント利益は、人件費や基幹業務システムの刷新費用など、販管費が増加したものの、前年並み - 営業利益は、前年度に計上したのれんの一部の減損損失がなくなったことで、黒字化
ニッセイ	設備投資需要の低迷により、主に減速機の販売が低調に推移し、減収減益
P&H	中級機・普及機の販売が堅調に推移したことに加え、高級機の新製品投入効果により、増収増益
N&C	カラオケ機器の販売などが堅調に推移したことにより、増収増益

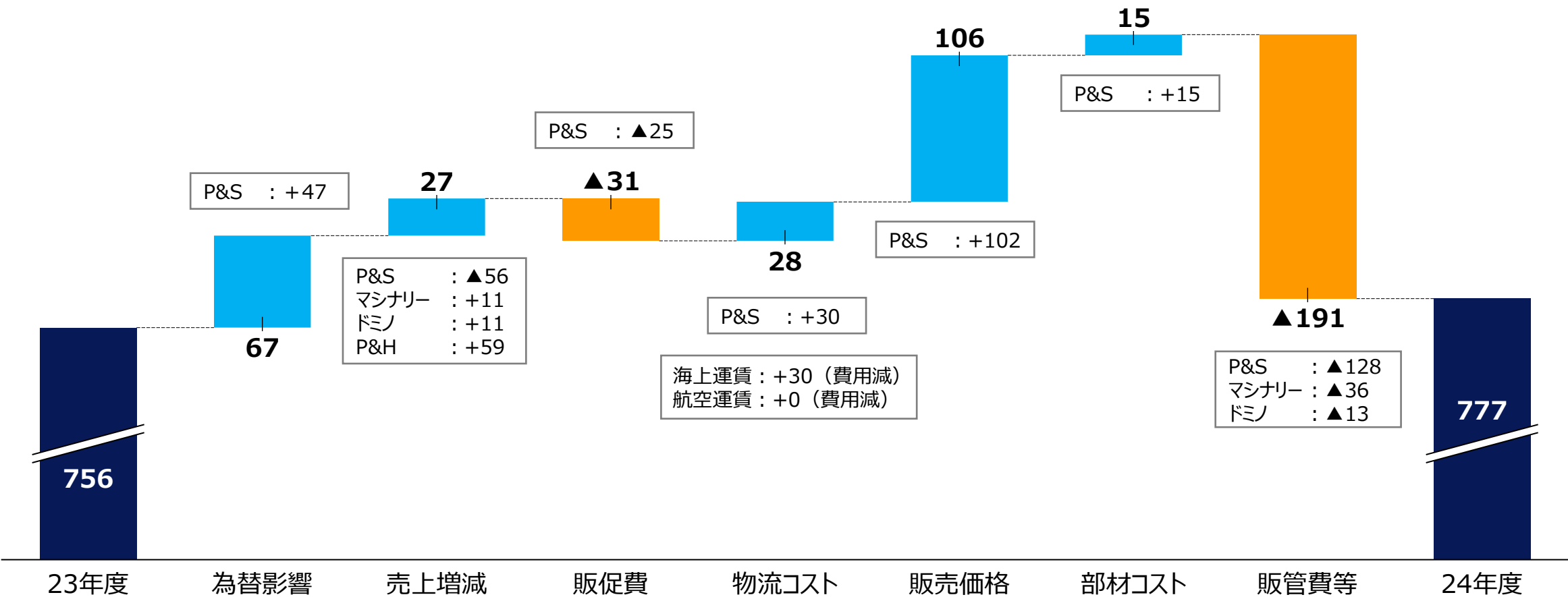
P&S事業において本体・消耗品ともに堅調に推移したことや、マシナリー、P&H、ドミノ事業の売上が伸長したこと、為替のプラス影響も加わり、増収となる



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

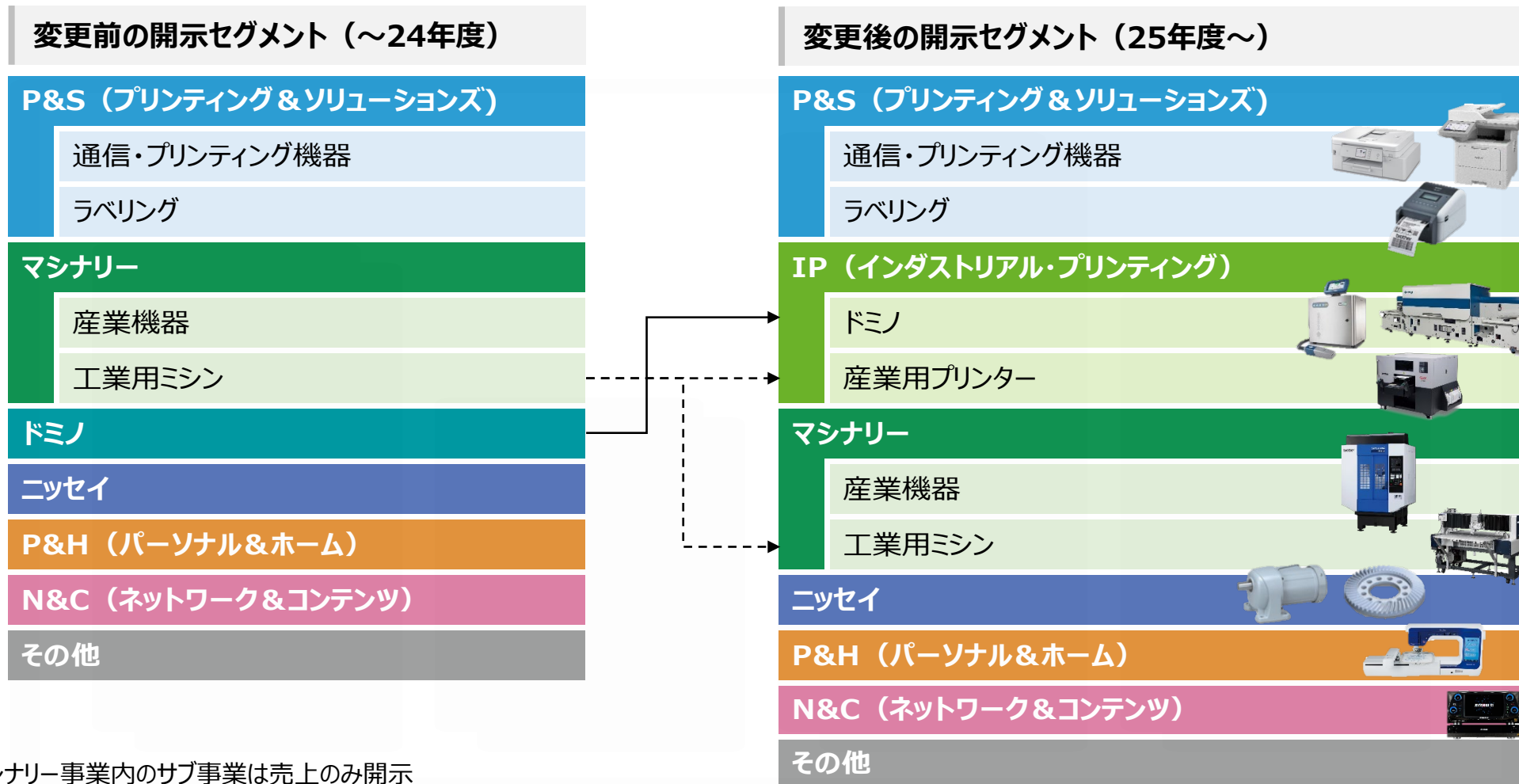
主に人件費を中心とした販管費が大幅に増加したものの、
P&S事業における価格対応の効果に為替のプラス影響なども加わり、増益となる

(億円)



2025年度 通期業績予想

2025年度より、ドミノ事業とマシナリー事業（工業用マシン）に含まれていた産業用プリンターを統合し、
インダストリアル・プリンティング事業（略称：IP事業）として開示



2025年度の通期業績予想には、米国関税政策の影響を以下の前提のもと織り込む。
関税政策については、引き続き状況を注視し影響を精査の上、必要に応じて通期業績予想のアップデートを行う

為替前提	1USD = 140円、1EUR = 160円
米国関税政策の影響と対応策	10%の追加関税（中国に対しては145%）が年度末まで継続することを前提に、以下を業績予想に織り込む ✗ 上記の関税負担の増加 ✓ 米国市場での販売価格の値上げ、経費・販促費のコントロール、コストダウン、生産調整 ✗ 米国市場での値上げにともなう販売数量減少 ✗ 中国向けビジネス比率が高く、設備投資需要の減退が見込まれるマシナリー事業などにおける市況悪化リスク

為替レートを2024年度に対し円高に設定したことによるマイナス影響と、米国関税政策の影響を織り込むものの、
売上収益、各段階利益ともに前年並みの水準を確保する

(億円)					
	24年度 実績	25年度 予想	増減 ()は為替影響 除く増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率	【参考】 オリジナル予想 (関税影響を除く)
売上収益	8,776	8,750	▲ 15 (500)	▲0.2% (5.7%)	8,760
事業セグメント利益	777	750	▲ 27 (4)	▲3.5% (0.5%)	800
事業セグメント利益率	8.9%	8.6%			9.1%
その他の収益・費用	▲ 78	▲ 20	58		0
営業利益	699	730	31	4.5%	800
営業利益率	8.0%	8.3%			9.1%
税引前利益	747	750	3	0.4%	820
親会社の所有者に帰属する					
当期利益	548	550	2	0.4%	590
USD	152.48	140.00	▲ 12.48		140.00
EUR	163.62	160.00	▲ 3.62		160.00

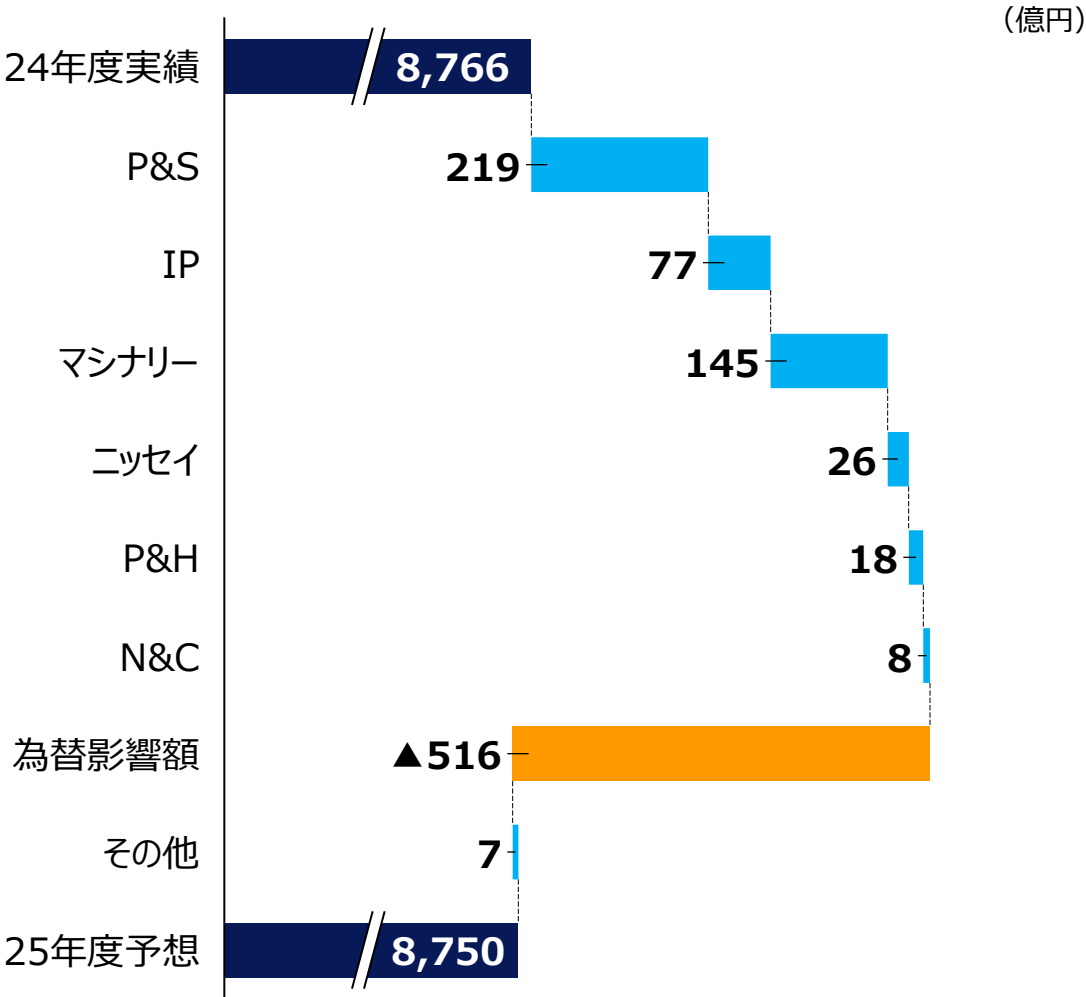
マシナリー事業を中心とした産業用領域での成長と、P&S事業での収益性の維持を目指す

(億円)

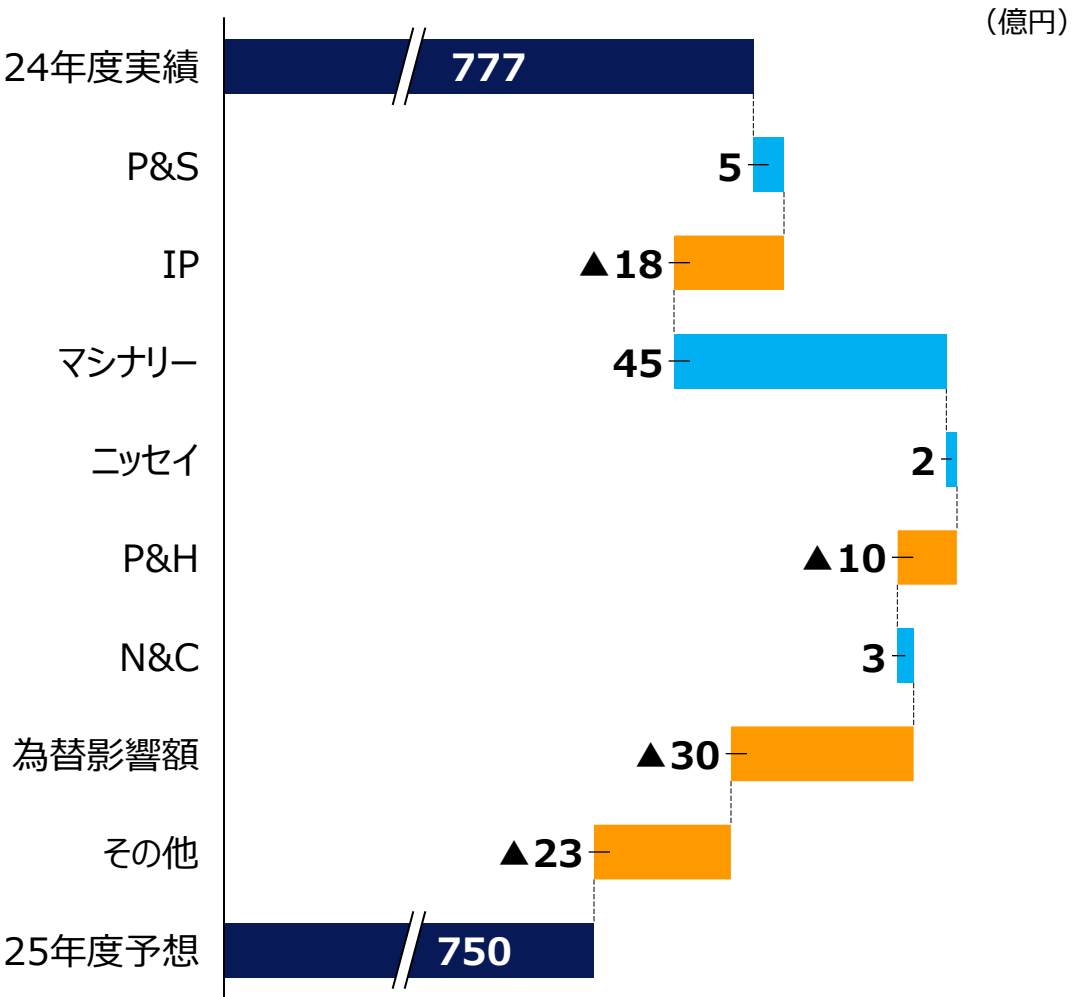
	売上収益			事業セグメント利益			営業利益増減		
	24年度 実績	25年度 予想	増減	24年度 実績	25年度 予想	増減	24年度 実績	25年度 予想	
P&S（プリンティング & ソリューションズ）	5,448	5,327	▲121	610	612	2	589	615	26
IP（インダストリアルプリンティング）	1,373	1,345	▲28	52	24	▲28	32	23	▲9
マシナリー	673	791	118	11	46	35	12	46	34
ニッセイ	200	220	20	5	5	0	0	5	5
P&H（パーソナル & ホーム）	572	552	▲20	73	58	▲15	67	58	▲9
N&C（ネットワーク & コンテンツ）	388	396	8	19	22	3	20	22	2
その他	111	119	7	7	▲16	▲23	▲19	▲38	▲18
合計	8,766	8,750	▲15	777	750	▲27	699	730	31

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

売上収益の増減



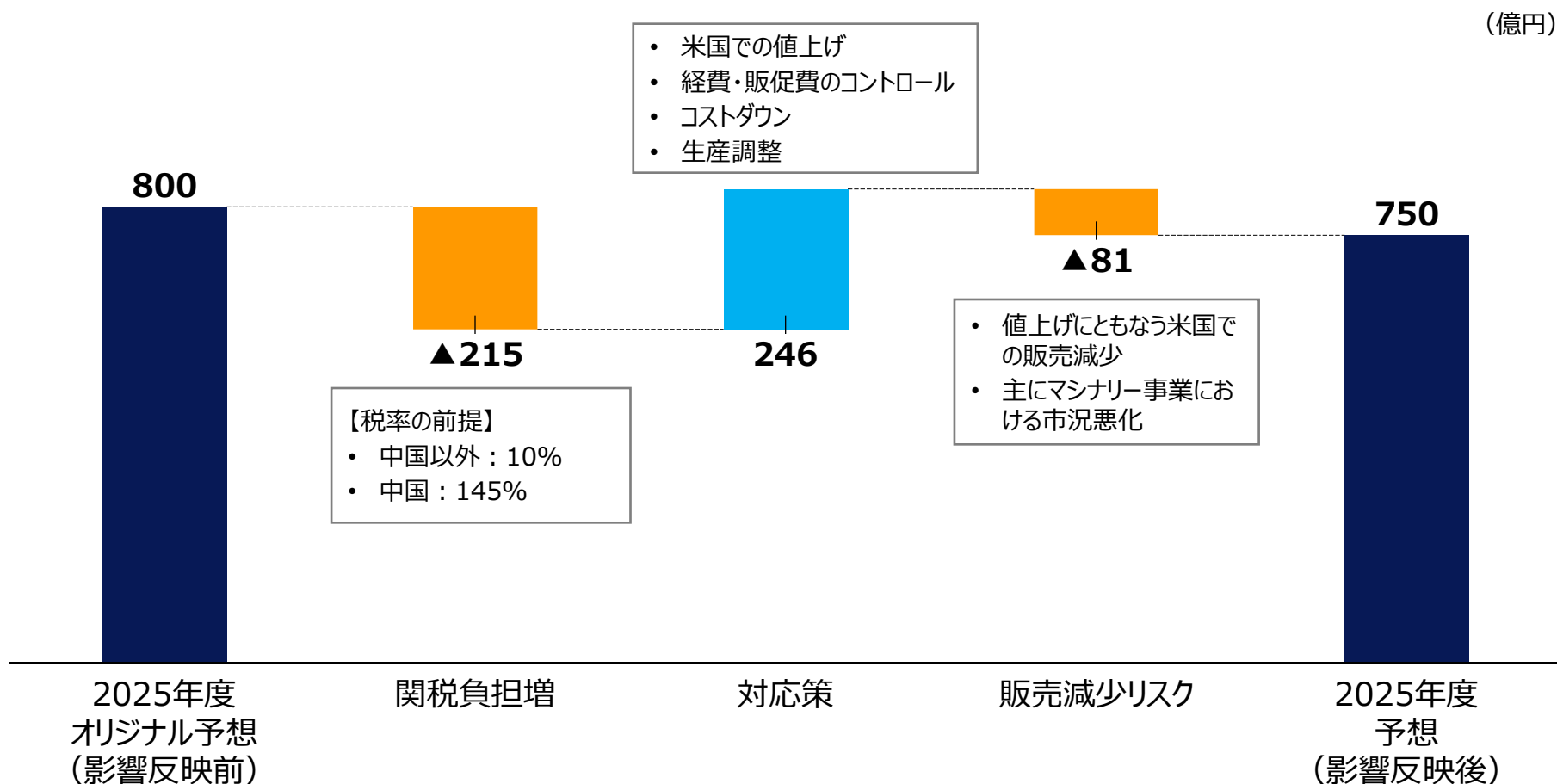
事業セグメント利益の増減



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

全社において対応策を講じることで、米国関税政策にともなう事業セグメント利益へのマイナス影響を50億円に留める

事業セグメント利益の増減（米国関税影響 反映前と反映後）



財務の状況/キャッシュ・フロー/設備投資・償却費/研究開発費

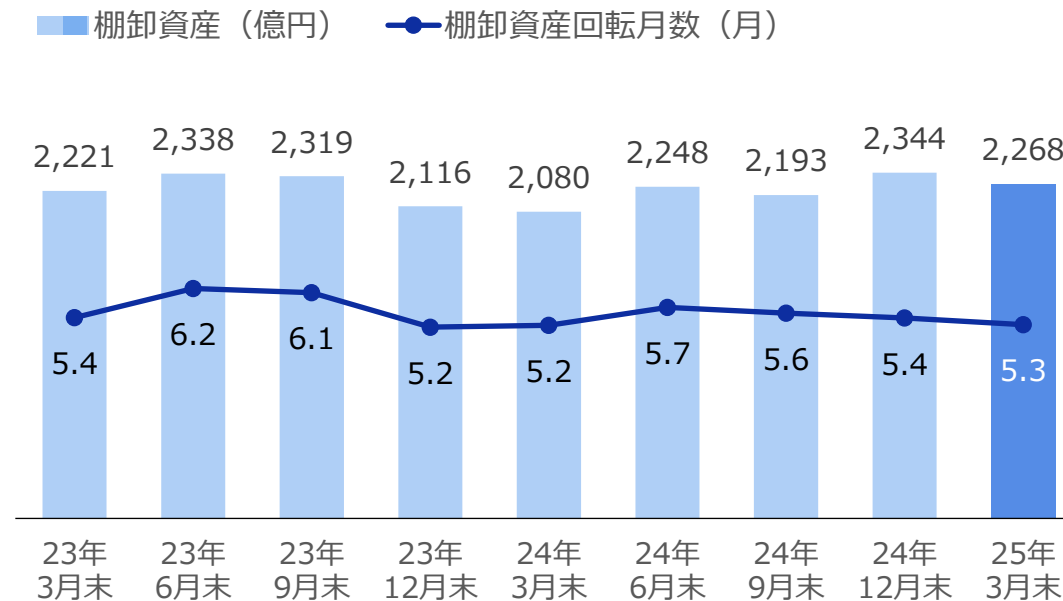
財政状態計算書 主要項目

(億円)

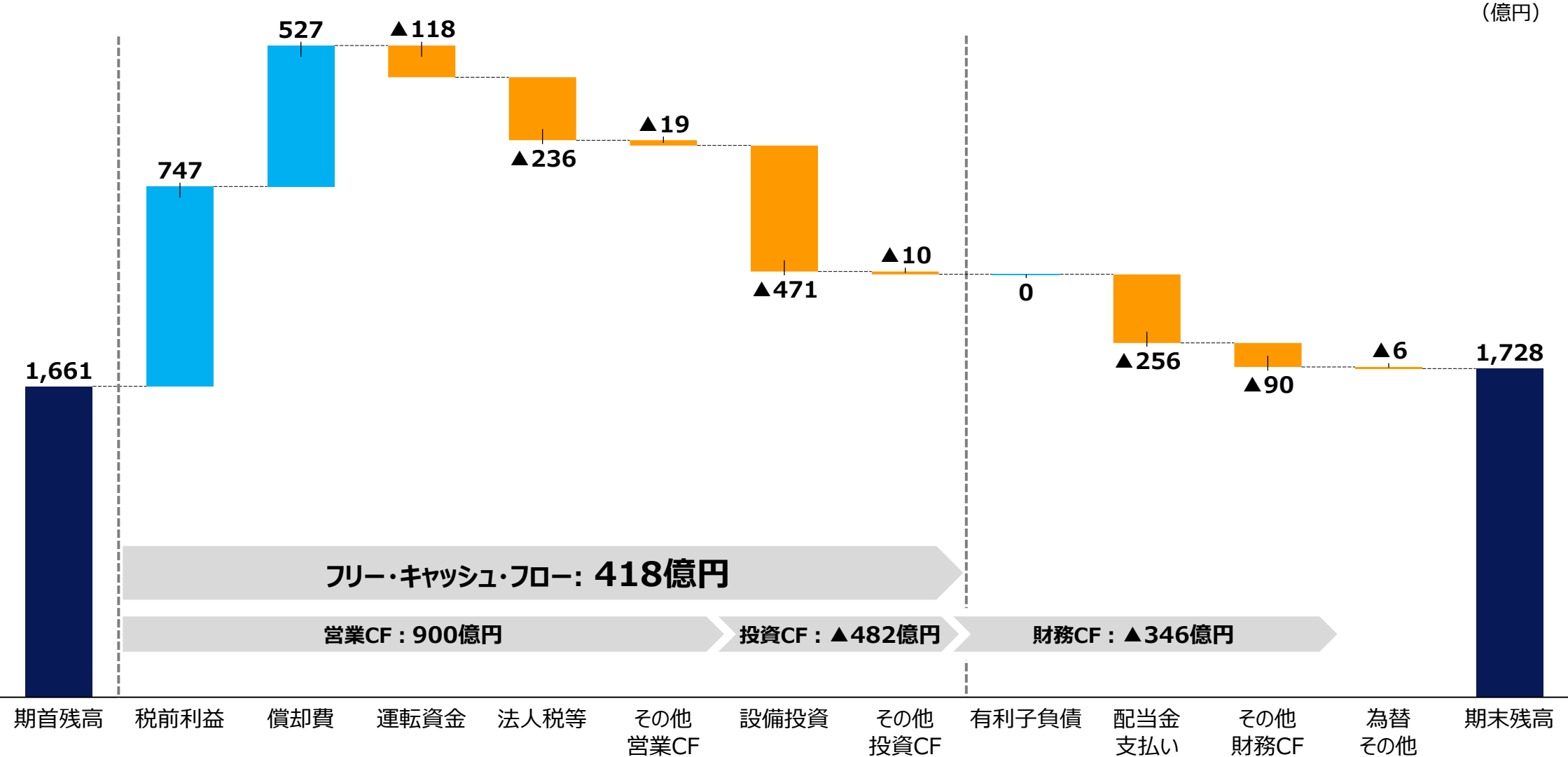
	24年3月末	25年3月末	増減
流動資産	5,419	5,741	322
現預金	1,661	1,728	66
棚卸資産	2,080	2,268	189
非流動資産	3,542	3,586	44
負債合計	2,280	2,412	132
有利子負債	6	6	0
株主資本	6,680	6,914	233
総資産	8,961	9,327	365

	24年3月末	25年3月末	増減
ネット・キャッシュ	1,655	1,722	66
株主資本比率	74.5%	74.1%	-
ROE	5.0%	8.1%	-
PBR	1.08	1.00	-

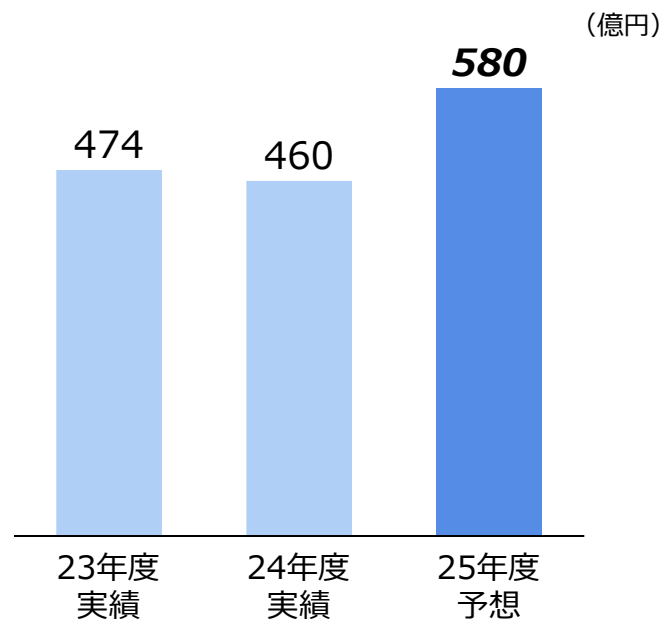
棚卸資産推移



※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)



設備投資

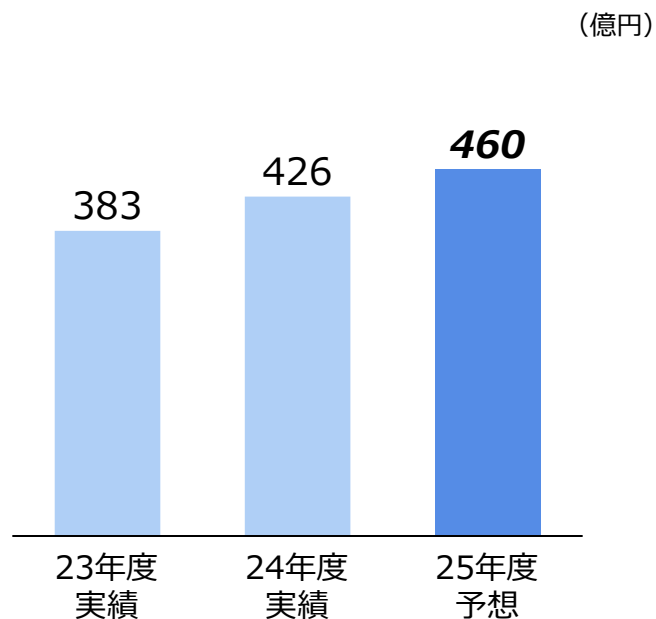


設備投資内訳

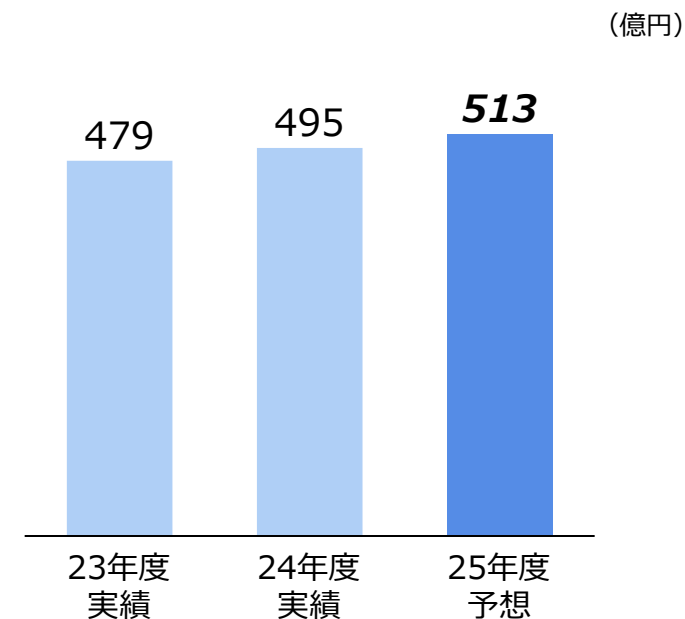
(億円)

	23年度 実績	24年度 実績	25年度 予想
産業用領域	100	83	113
民生用領域他	375	376	467
計	474	460	580

減価償却費



研究開発費



研究開発費内訳

(億円)

	23年度 実績	24年度 実績	25年度 予想
産業用領域	134	148	177
民生用領域他	346	347	336
計	479	495	513

*産業用領域は、マシナリー事業、ドミノ事業（25年度はインダストリアル・プリンティング事業）、ニッセイ事業の内訳を合算したものです。

株主還元

2024年度の1株当たり年間配当は、100円（16円増配）、2025年度の1株当たり年間配当は、100円を予定

「CS B2027」株主還元方針

基本
方針

安定的かつ継続的な
株主還元の実施

配当

- 1株あたり年間**100円**の配当を下限
- 配当性向40%**を目安とする

自己株式取得

- CS B2027の期間に、
合計600億円(3カ年合計)の
自己株式を取得予定

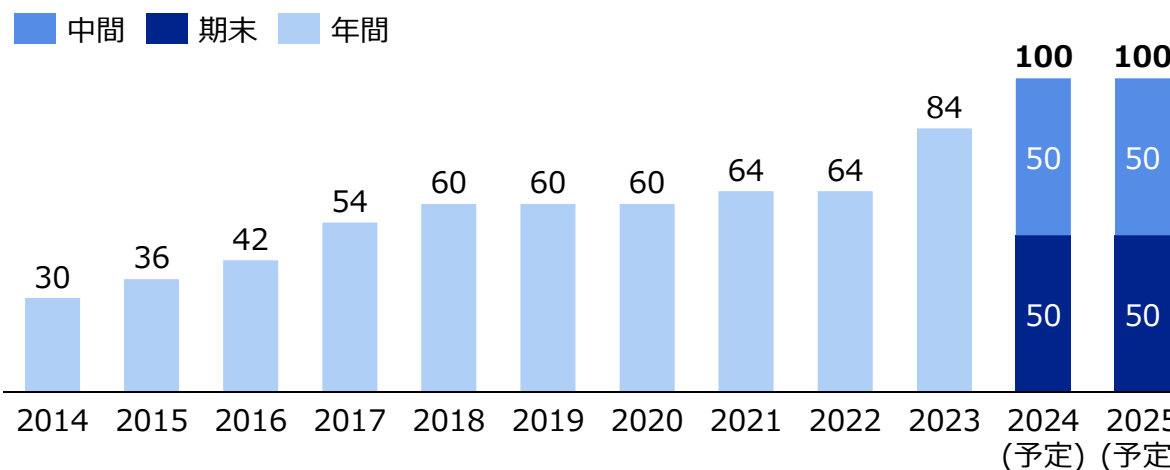
追加還元

- 業績等の状況に応じて追加還元を検討**
(配当水準の引き上げや機動的な自己株式の追加取得)

配当

- 2024年度の1株あたり年間配当は、**100円**を予定
(前年比16円増配)
- 2025年度の1株あたり年間配当は、**100円**を予定

1株あたり年間配当額の推移



株主還元と資本効率の向上、および機動的な資本政策を遂行するため、
200億円を上限として自己株式の取得を実施する

取得価額の総額

200億円（上限）

取得し得る
株式の総額

1,100万株（上限）

発行済み株式総数に対する割合：4.29%

取得期間

2025年5月12日～2026年4月30日

取得後の
自己株式の扱い

希薄化懸念の払拭のため、消却する予定

社長メッセージ

CS B2027

ブラザーグループ 中期戦略

挑む。
未来へ、大胆に

中期戦略 CS B2027(2025～27年度)始動

長期的な企業価値向上に向け
事業ポートフォリオの変革を加速し、
利益創出力を高めていく

- 中期戦略の方針・方向性に変更はなし。
変革を実現していく“実行の3年間”とする
- 関税影響は相当の規模で見込まれるが
全事業で対応策を展開し、業績影響の最小化を図る
- 成長投資および技術基盤・人財基盤の強化を
確実に実行し、産業用領域の成長を推進する
- 資本コストと株価を意識した経営を推進し、
株主還元を強化する

Appendix

2024年度 第4四半期（1月-3月）業績

増収となるものの、販管費の増加やP&S事業における消耗品の販売減を含むミックスの変化などにより、事業セグメント利益は減益となる。
営業利益以下は、前年度に計上したドミノ事業におけるのれんの一部の減損損失などがなくなったことにより、黒字となる

(億円)

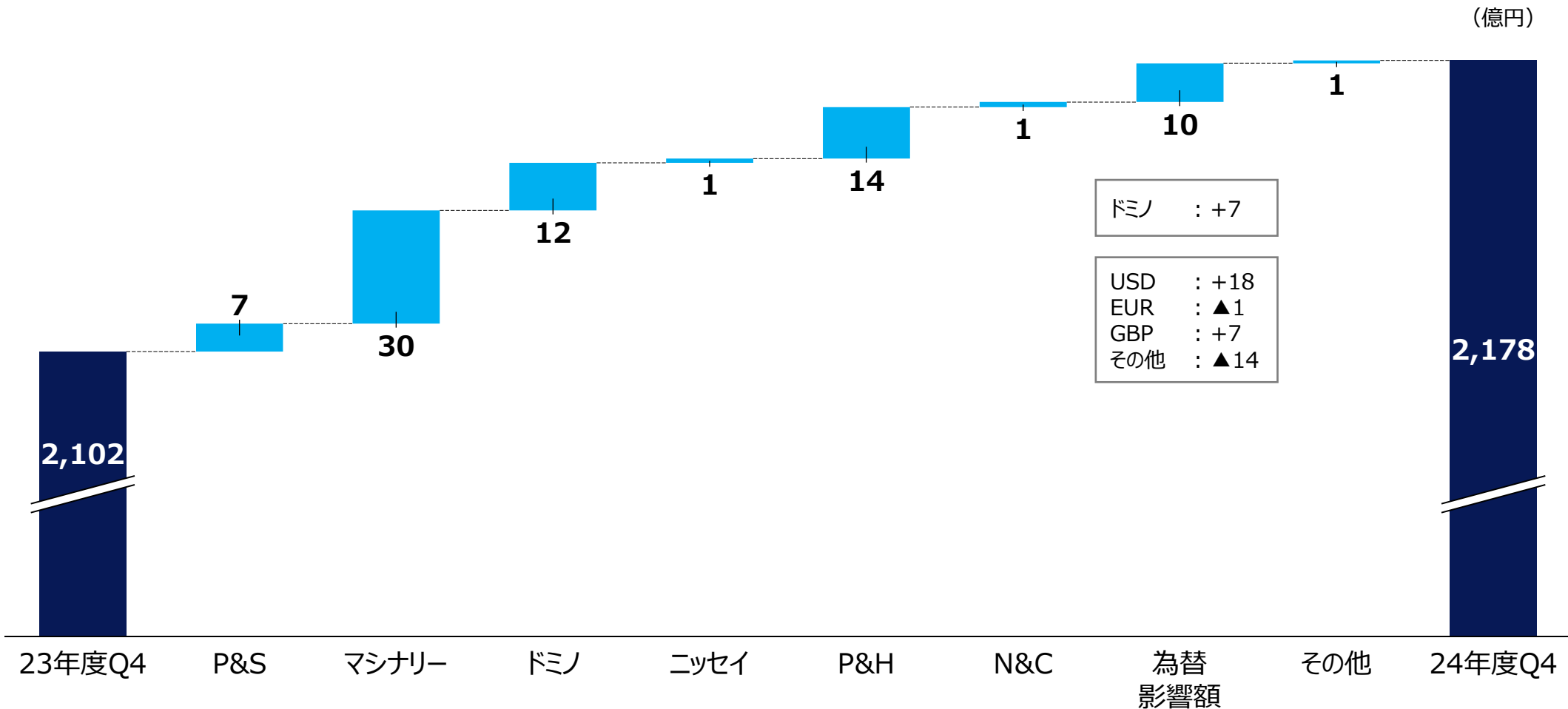
	23Q4	24Q4	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	2,102	2,178	76 (66)	3.6% (3.1%)
事業セグメント利益	140	85	▲54 (▲50)	▲38.9% (▲35.8%)
事業セグメント利益率	6.6%	3.9%		
その他の収益・費用	▲253	▲27	225	
営業利益	▲113	58	171	-
営業利益率	▲5.4%	2.7%		
税引前利益	▲108	66	174	-
親会社の所有者に帰属する				
当期利益	▲150	44	193	-
USD	147.87	152.95	5.08	
EUR	160.90	160.74	▲0.16	

(億円)

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	23Q4	24Q4	増減	23Q4	24Q4	増減	23Q4	24Q4	増減
P&S	1,315	1,323	8	126	43	▲82	120	42	▲78
マシナリー	195	227	32	▲3	▲4	▲1	▲3	▲5	▲1
ドミノ	292	311	19	6	13	7	▲279	0	279
ニッセイ	50	51	1	1	1	1	1	▲4	▲5
P&H	127	141	14	11	28	16	12	22	10
N&C	96	98	1	1	5	4	▲1	4	4
その他	26	27	1	▲1	▲1	1	37	▲1	▲38
合計	2,102	2,178	76	140	85	▲54	▲113	58	171

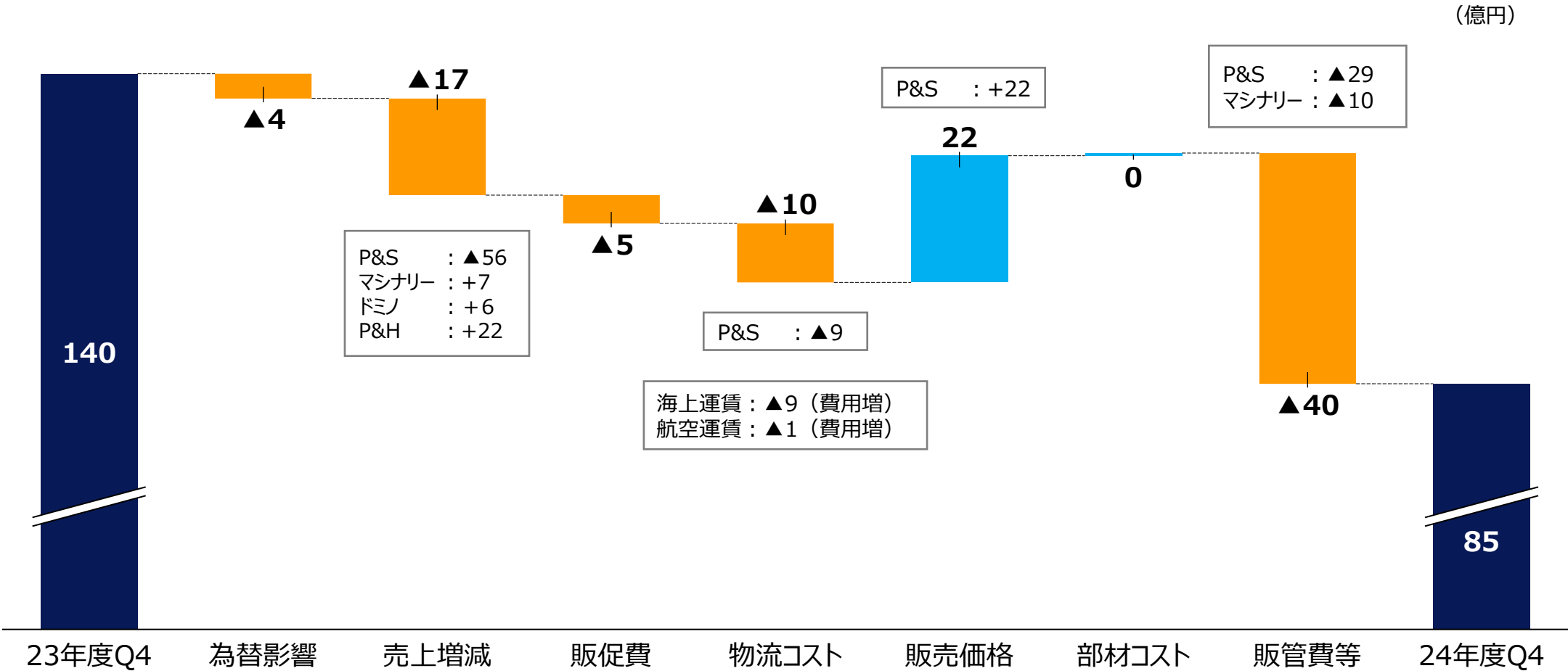
※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

マシナリー、P&H、ドミノ事業を中心に全事業で売上が伸長したことに為替のプラス影響も加わり、増収となる



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

P&S事業における消耗品の価格対応の効果や、P&H事業における高級機の新製品投入効果があったものの、P&S事業における消耗品の販売減を含むミックスの変化や販管費の増加などにより、減益となる



セグメント業績概要（2024年度業績）

プリンティング&ソリューションズ事業
 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

旧セグメント



	23Q4	24Q4	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	1,315	1,323	0.6%	0.6%
通信・プリンティング機器	1,142	1,154	1.1%	1.1%
米州	456	484	6.2%	6.9%
欧州	383	352	-7.9%	-7.9%
アジア他	199	212	6.8%	5.9%
日本（OEMを含む）	105	106	0.9%	-0.6%
ラベリング	173	169	-2.4%	-3.1%
米州	81	77	-4.2%	-5.4%
欧州	57	55	-3.7%	-3.7%
アジア他	22	23	5.4%	4.6%
日本	14	14	1.5%	-
事業セグメント利益	126	43	-65.4%	-
営業利益	120	42	-65.0%	-

	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
(億円)	5,149	5,446	5,448	5.8%	3.2%
通信・プリンティング機器	4,486	4,748	4,755	6.0%	3.5%
米州	1,742	1,835	1,850	6.2%	6.4%
欧州	1,449	1,525	1,501	3.6%	-0.8%
アジア他	866	937	952	9.9%	5.1%
日本（OEMを含む）	429	450	452	5.3%	2.9%
ラベリング	664	698	693	4.5%	1.2%
米州	304	319	318	4.7%	2.5%
欧州	208	220	217	4.3%	-0.3%
アジア他	104	109	109	4.6%	0.0%
日本	48	50	49	3.2%	-
事業セグメント利益	625	652	610	-2.5%	-
営業利益	610	645	589	-3.5%	-

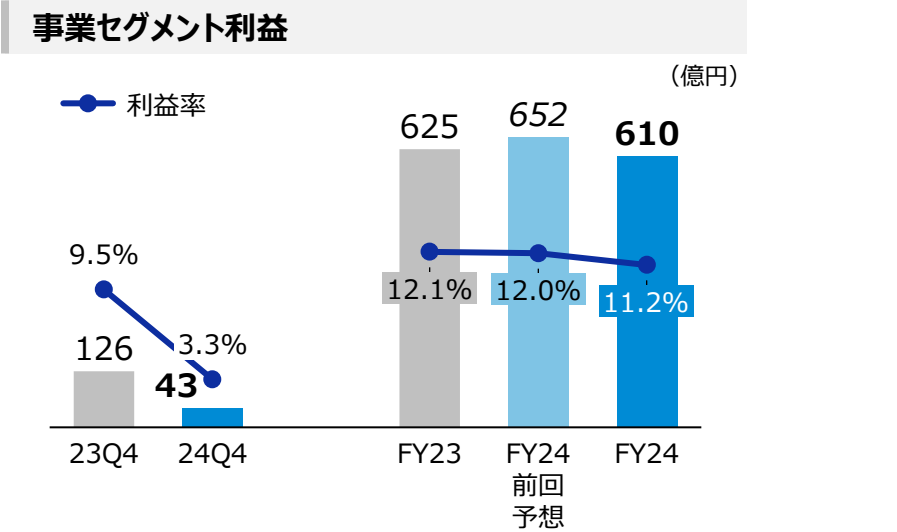
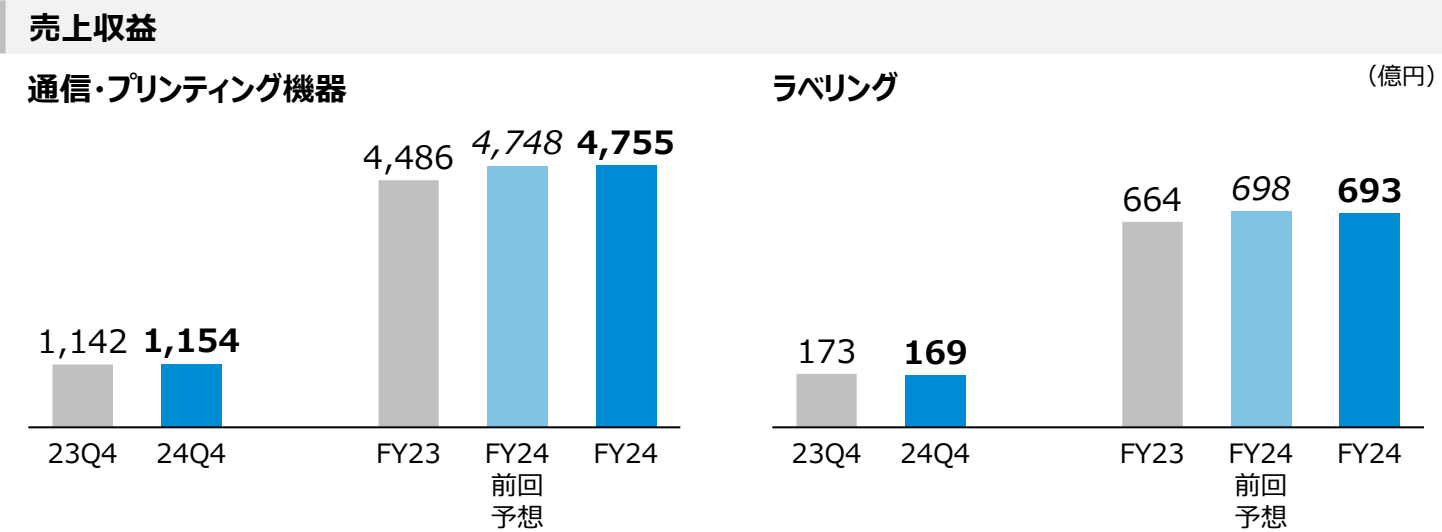
民生/産業区分

通信・プリンティング
汎用ラベリング
 民生用

業務用ラベリング
 産業用

主な製品等

レーザー複合機
 インクジェット複合機
 ラベルライター
 ラベルプリンター



プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比

		22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	23Q1	23Q2	23Q3	23Q4	24Q1	24Q2	24Q3	24Q4	22通期	23通期	24通期
売上金額伸び率（前年同期比）																
レーザー																
円ベース	本体	41%	45%	42%	36%	4%	-17%	-13%	-1%	-5%	2%	-1%	1%	41%	-8%	-1%
	消耗品	18%	-8%	0%	4%	3%	15%	11%	18%	11%	14%	14%	-2%	3%	11%	9%
現地通貨ベース	本体	25%	23%	21%	23%	-1%	-21%	-16%	-9%	-12%	2%	0%	1%	23%	-13%	-2%
	消耗品	7%	-20%	-13%	-6%	-3%	7%	5%	7%	0%	12%	12%	-2%	-8%	4%	5%
インクジェット																
円ベース	本体	18%	32%	46%	39%	5%	3%	-5%	-1%	18%	12%	17%	14%	33%	0%	15%
	消耗品	19%	-2%	8%	13%	15%	16%	0%	5%	-1%	6%	11%	-2%	9%	8%	3%
現地通貨ベース	本体	8%	16%	30%	27%	2%	-2%	-8%	-7%	10%	14%	18%	16%	20%	-4%	15%
	消耗品	11%	-12%	-2%	4%	9%	9%	-4%	-3%	-9%	4%	10%	-2%	0%	2%	1%
消耗品比率		53%	47%	49%	53%	54%	53%	54%	56%	55%	55%	56%	55%	51%	54%	55%
販売台数伸び率（前年同期比）																
レーザー																
		14%	9%	3%	8%	-1%	-21%	-8%	-6%	-13%	-2%	-6%	1%	8%	-10%	-5%
インクジェット		8%	16%	42%	43%	4%	0%	-3%	-9%	13%	14%	17%	11%	26%	-2%	14%

※販売台数伸び率について、インクジェットの23Q4を-8%から-9%に、レーザーの23通期を-9%から-10%に、前回公表時（2025年2月9日）から修正しました。

マシナリー事業
売上収益・事業セグメント利益・営業利益

旧セグメント



	23Q4	24Q4	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	195	227	16.3%	15.2%
産業機器	120	145	20.6%	20.2%
米州	12	8	-33.9%	-
欧州	8	10	13.1%	-
アジア他	67	104	55.5%	-
日本	32	23	-29.3%	-
工業用マシン	75	82	9.4%	7.3%
米州	20	21	4.8%	2.1%
欧州	15	14	-6.3%	-6.3%
アジア他	36	42	17.2%	14.2%
日本	4	5	19.7%	-
事業セグメント利益	-3	-4	-	-
営業利益	-3	-5	-	-

	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
(億円)	774	860	852	10.1%	7.0%
産業機器	431	471	473	9.8%	8.3%
米州	36	34	33	-8.5%	-
欧州	32	26	26	-18.5%	-
アジア他	244	314	319	30.7%	-
日本	119	97	96	-19.7%	-
工業用マシン	343	389	379	10.5%	5.4%
米州	114	117	109	-4.7%	-8.5%
欧州	74	70	65	-11.8%	-15.9%
アジア他	134	186	187	39.3%	31.7%
日本	20	16	18	-13.1%	-
事業セグメント利益	22	13	9	-61.4%	-
営業利益	23	12	8	-65.1%	-

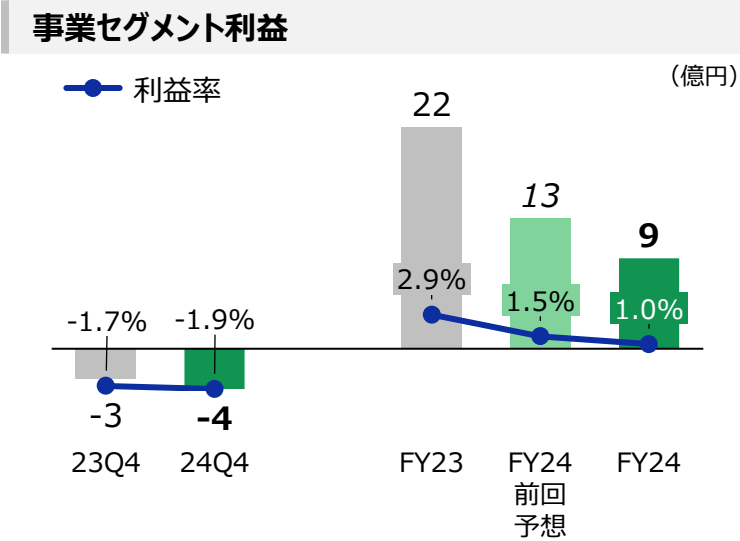
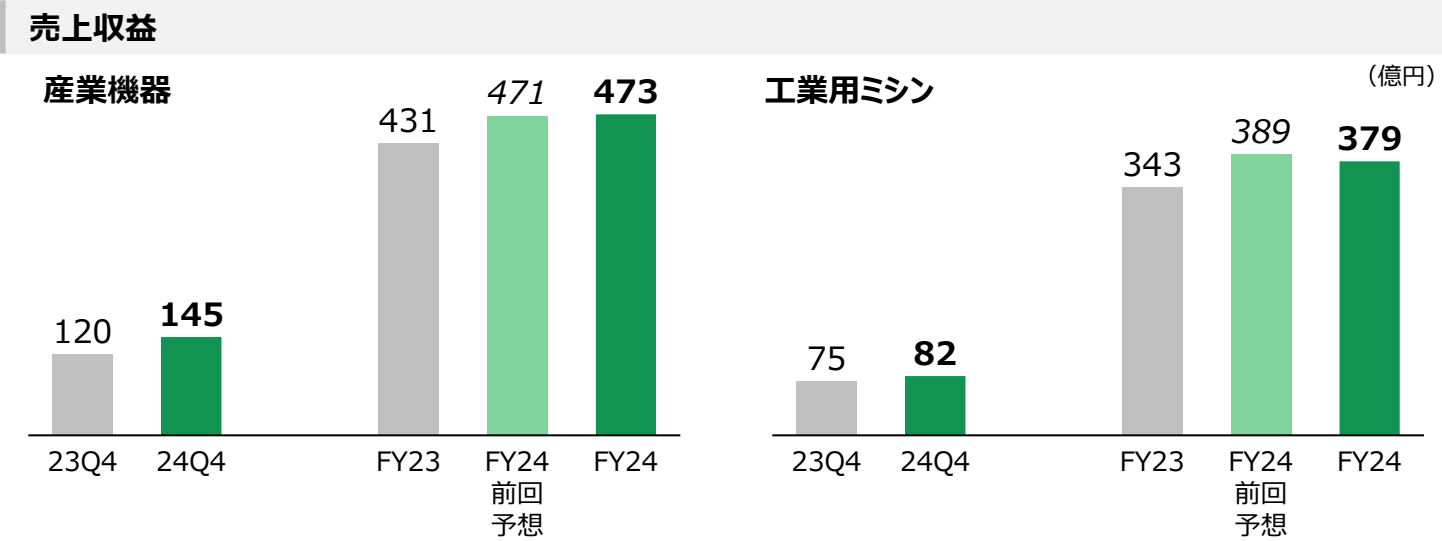
民生/産業区分

産業用

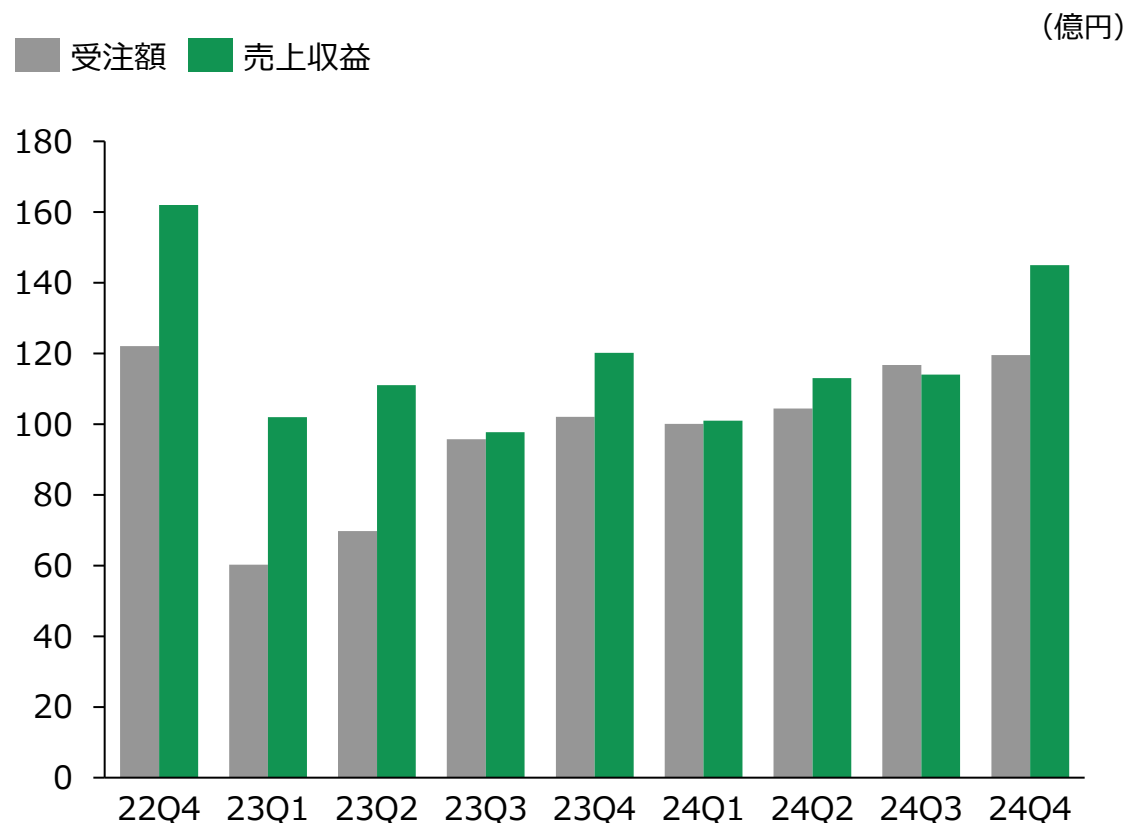
主な製品等



工作機械 工業用マシン ガーメントプリンター

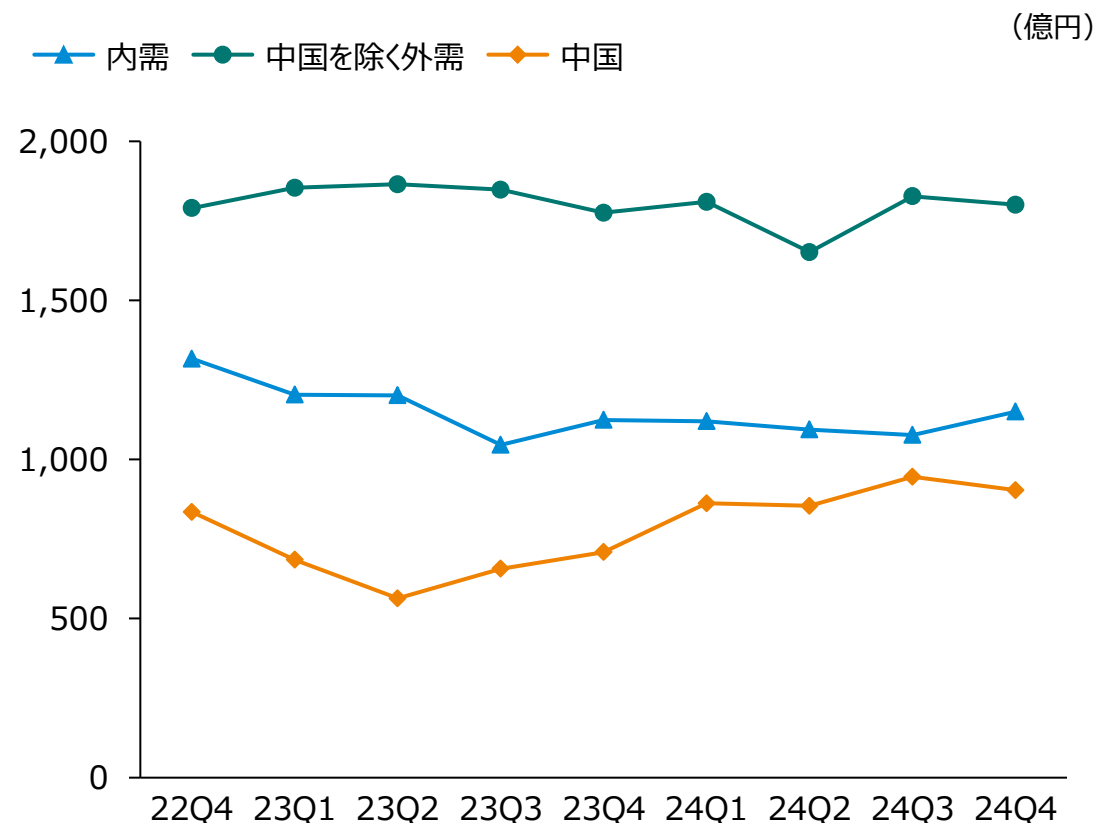


受注額・売上収益の推移



※国内・海外の製品本体の受注額合計
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

(参考) 日工会受注統計



※出所: (一社) 日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

ドミノ事業
売上収益・事業セグメント利益・営業利益

旧セグメント



	23Q4	24Q4	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	292	311	6.5%	4.3%
米州	75	81	8.7%	8.7%
欧州	124	138	11.8%	2.9%
アジア他	85	80	-6.6%	-1.6%
日本	8	12	45.1%	-
事業セグメント利益	6	13	118.6%	-
営業利益	-279	0	-	-

(億円)

	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	1,096	1,174	1,194	8.9%	3.3%
米州	281	308	313	11.4%	8.3%
欧州	469	507	516	10.1%	-0.3%
アジア他	310	317	322	3.9%	2.6%
日本	36	41	42	17.3%	-
事業セグメント利益	51	47	54	7.2%	-
営業利益	-241	41	36	-	-

民生/産業区分

産業用

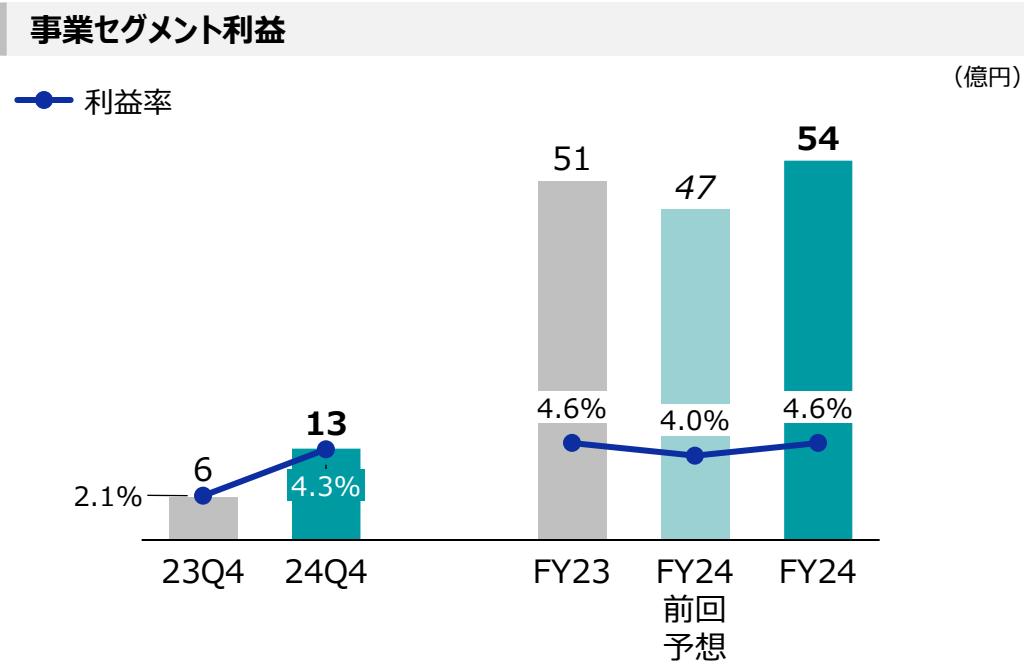
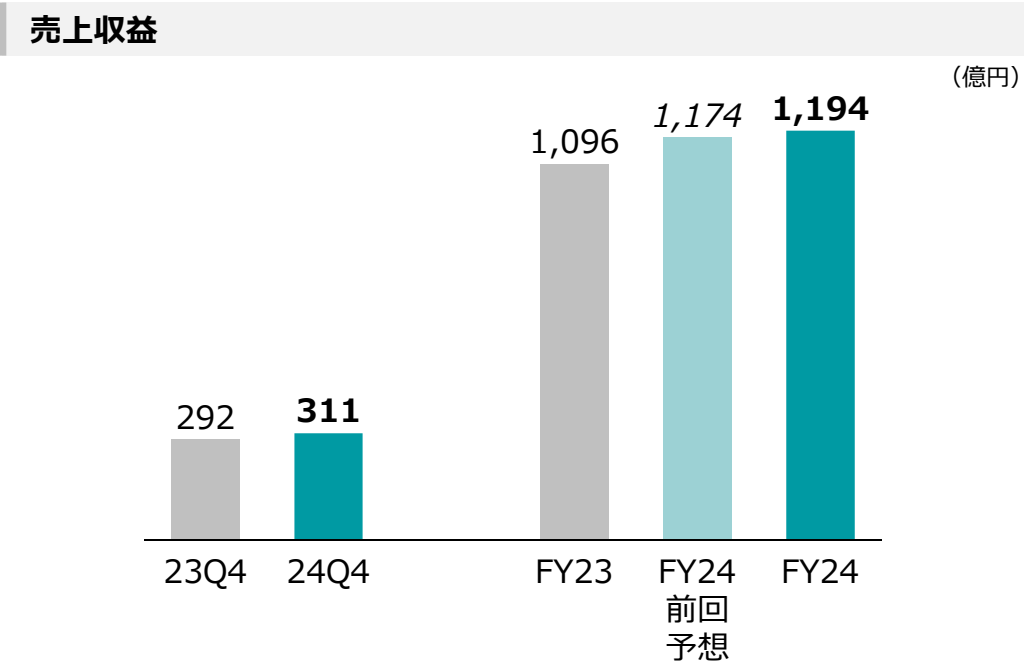
主な製品等



コーディング・
マーキング機器



デジタル印刷機



ニッセイ事業
売上収益・事業セグメント利益・営業利益

旧セグメント



	23Q4	24Q4	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	50	51	2.4%	2.2%
米州	9	9	-3.9%	-6.7%
欧州	-	-	-	-
アジア他	7	6	-13.1%	-10.9%
日本	33	36	7.5%	-
事業セグメント利益	1	1	78.4%	-
営業利益	1	-4	-	-

(億円)

	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
	208	202	200	-3.9%	-5.1%
	33	31	31	-5.7%	-10.5%
	-	-	-	-	-
	35	30	29	-15.2%	-17.6%
	141	141	140	-0.7%	-
	10	3	5	-53.5%	-
	10	3	0	-	-

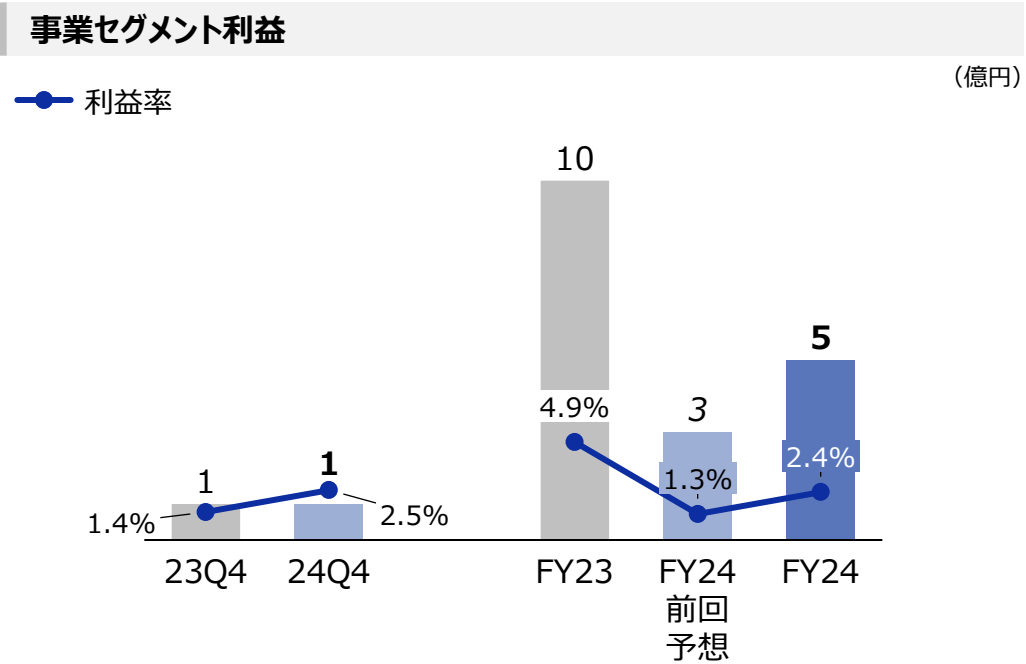
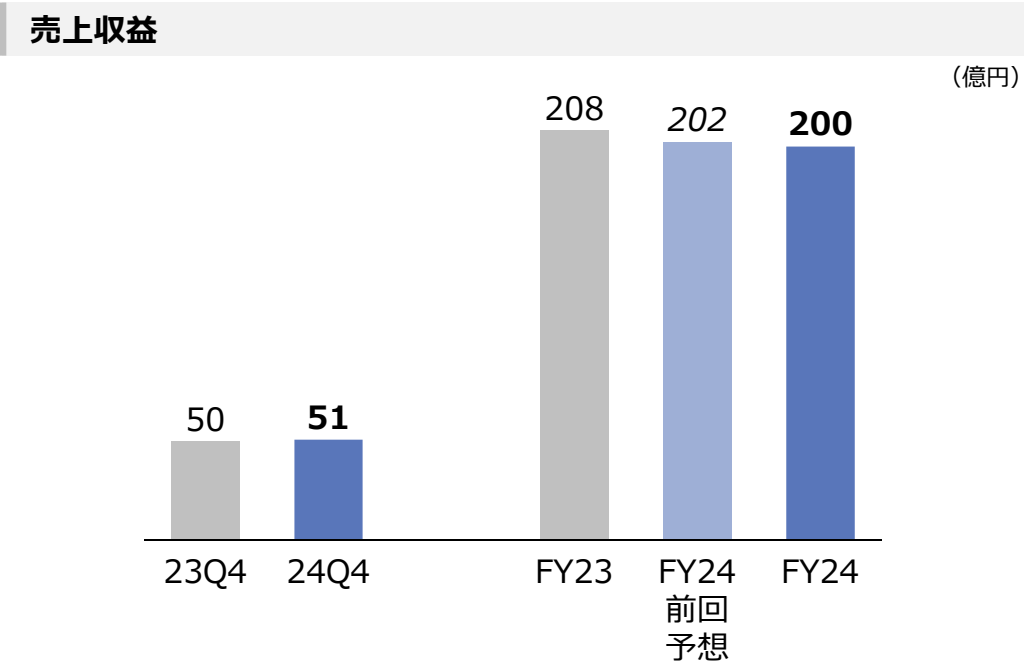
民生/産業区分

産業用

主な製品等



ギアモータ 高剛性減速機 歯車



パーソナル&ホーム事業
売上収益・事業セグメント利益・営業利益

旧セグメント



	23Q4	24Q4	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	127	141	11.0%	10.6%
米州	75	87	16.7%	16.2%
欧州	30	32	4.4%	4.5%
アジア他	12	14	16.4%	15.4%
日本	11	9	-15.4%	-
事業セグメント利益	11	28	141.3%	-
営業利益	12	22	85.4%	-

	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	505	571	572	13.2%	10.6%
米州	300	345	346	15.5%	13.8%
欧州	126	139	139	10.6%	6.1%
アジア他	51	57	57	12.2%	7.5%
日本	28	29	28	2.6%	-
事業セグメント利益	25	57	73	190.7%	-
営業利益	25	57	67	168.7%	-

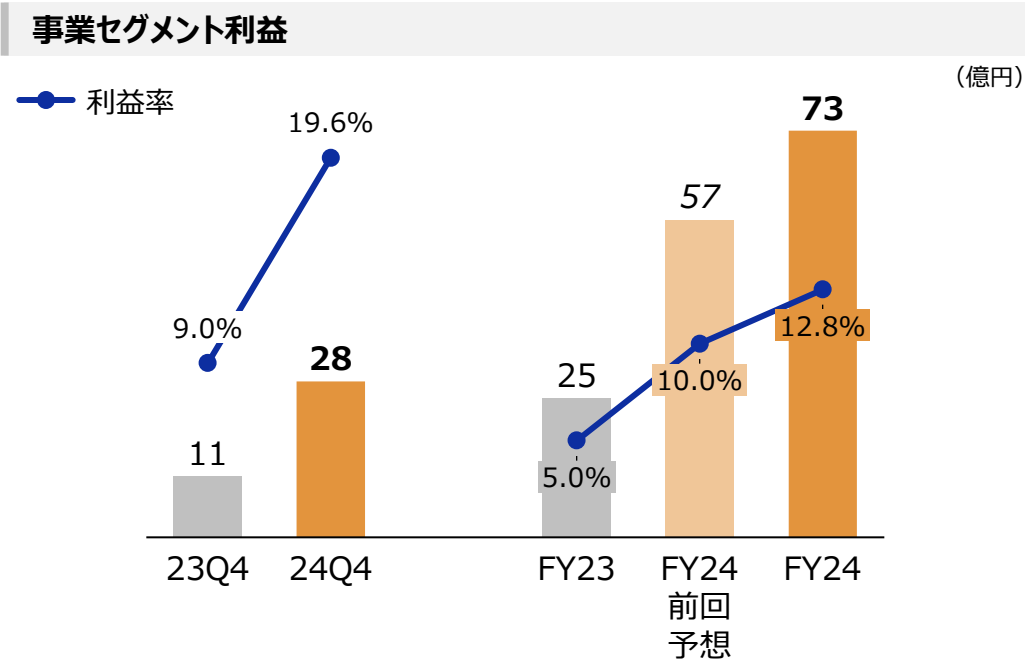
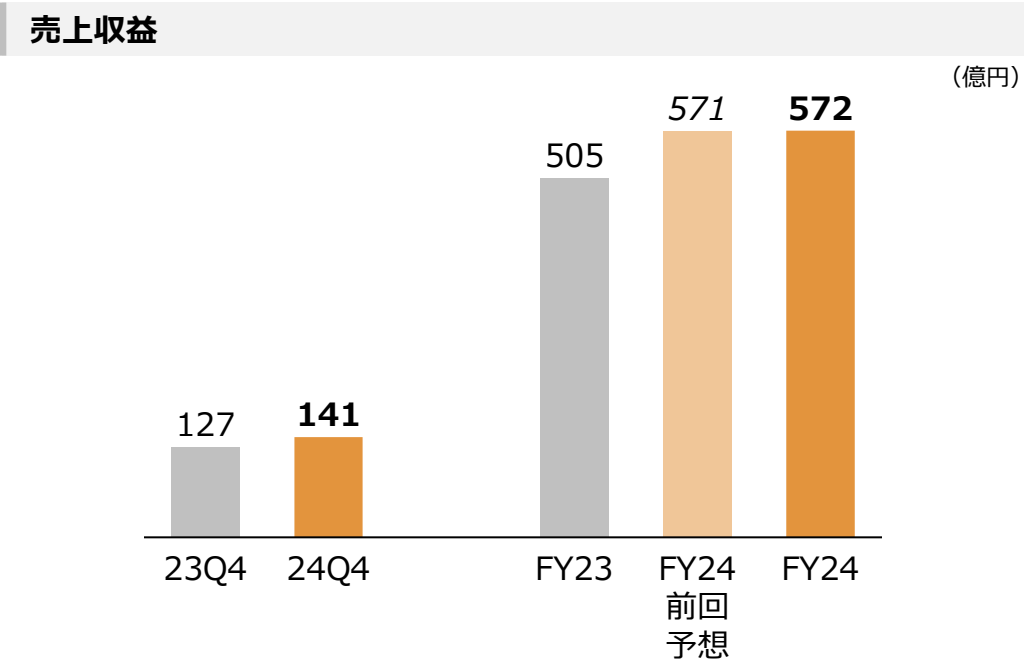
民生/産業区分

民生用

主な製品等


©Disney 家庭用ミシン


カッティングマシン



ネットワーク&コンテンツ事業
売上収益・事業セグメント利益・営業利益

旧セグメント



	23Q4	24Q4	増減率
売上収益	96	98	1.4%
事業セグメント利益	1	5	728.5%
営業利益	-1	4	-

(億円)

	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率
売上収益	381	388	388	1.9%
事業セグメント利益	16	20	19	18.6%
営業利益	17	21	20	18.3%

民生/産業区分

民生用

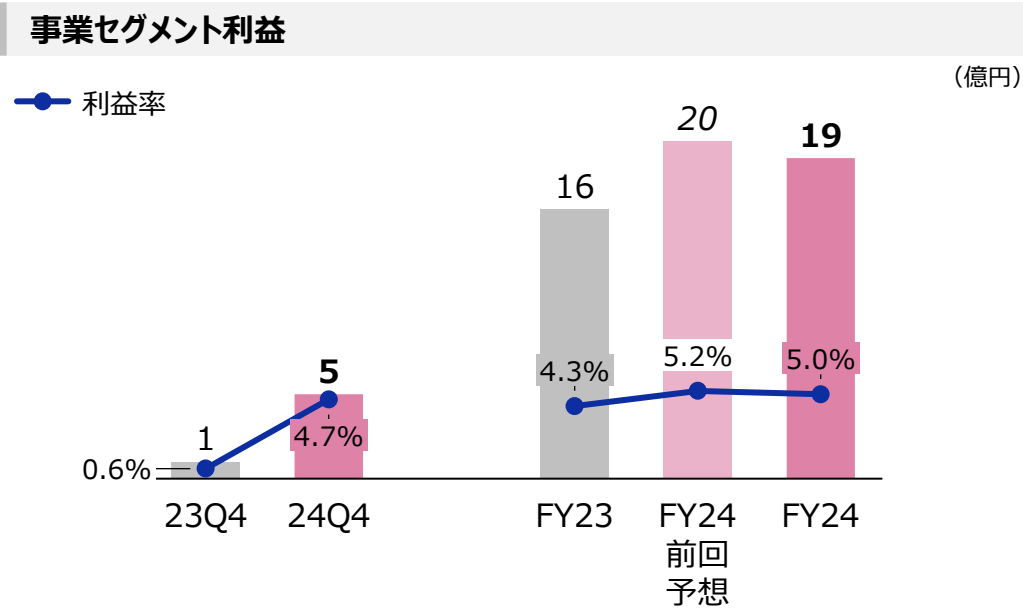
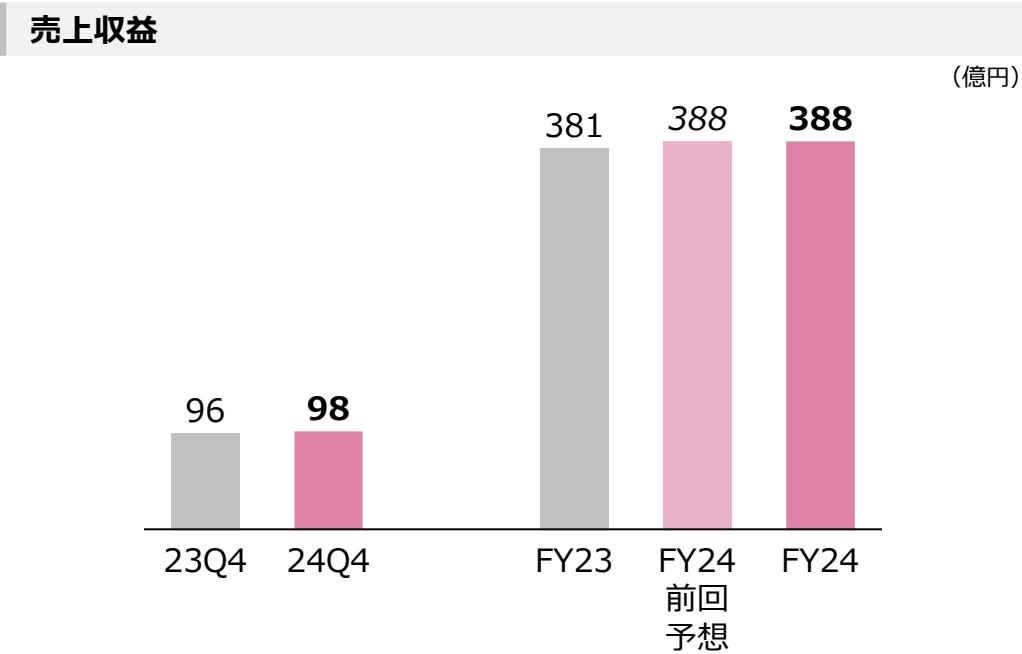
主な製品等



通信カラオケシステム



エンターテインメント・プラットフォーム



セグメント業績概要（2025年度業績予想）

米国関税政策の影響を受け、地域別の予想は非開示いたします。
第1四半期決算発表時にアップデート予定です。

プリンティング&ソリューションズ事業/インダストリアル・プリンティング事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

新セグメント

brother
at your side

プリンティング&ソリューションズ事業

(億円)

	FY24	FY25予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	5,448	5,327	-2.2%	4.0%
通信・プリンティング機器	4,755	4,647	-2.3%	4.0%
米州	1,850	-	-	-
欧州	1,501	-	-	-
アジア他	952	-	-	-
日本（OEMを含む）	452	-	-	-
ラベリング	693	680	-1.9%	4.3%
米州	318	-	-	-
欧州	217	-	-	-
アジア他	109	-	-	-
日本	49	-	-	-
事業セグメント利益	610	612	0.3%	-
営業利益	589	615	4.4%	-

売上収益

通信・プリンティング機器

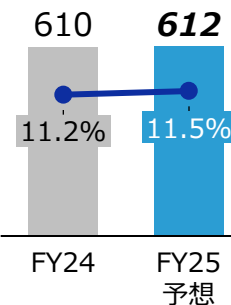
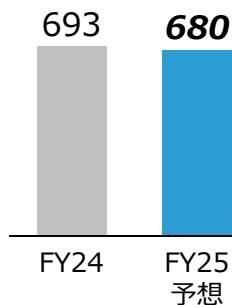
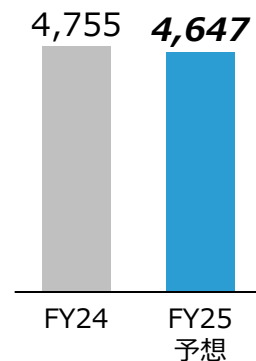
ラベリング

(億円)

事業セグメント利益

● 利益率

(億円)



インダストリアル・プリンティング事業

(億円)

	FY24	FY25予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	1,373	1,345	-2.0%	5.6%
ドミノ	1,194	1,155	-3.3%	4.5%
米州	313	-	-	-
欧州	516	-	-	-
アジア他	322	-	-	-
日本	42	-	-	-
産業用プリンター	179	190	6.3%	13.0%
米州	98	-	-	-
欧州	38	-	-	-
アジア他	28	-	-	-
日本	14	-	-	-
事業セグメント利益	52	24	-54.3%	-
営業利益	32	23	-28.3%	-

売上収益

ドミノ

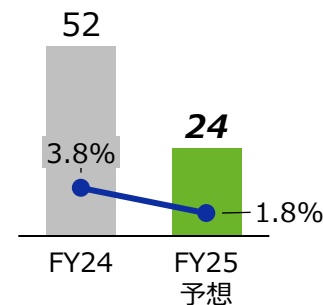
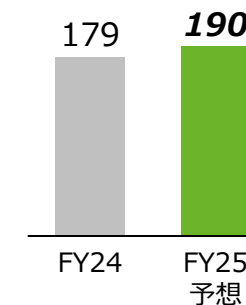
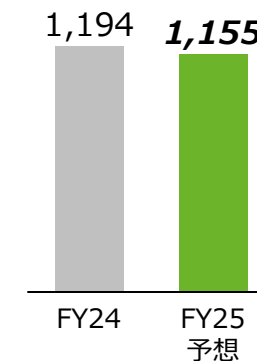
産業用プリンター

(億円)

事業セグメント利益

● 利益率

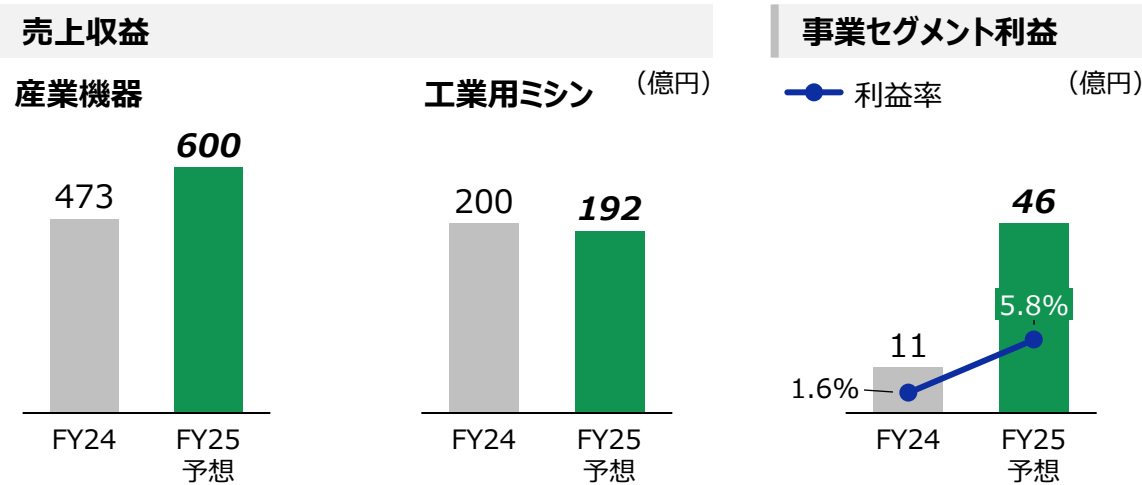
(億円)



マシナリー事業

(億円)

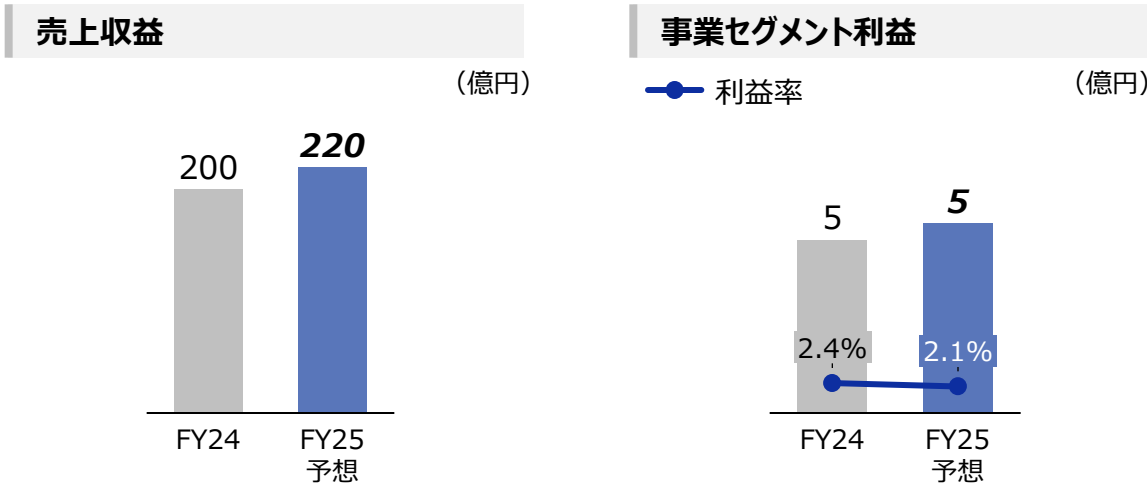
	FY24	FY25予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	673	791	17.6%	21.5%
産業機器	473	600	26.7%	29.4%
米州	33	-	-	-
欧州	26	-	-	-
アジア他	319	-	-	-
日本	96	-	-	-
工業用マシン	200	192	-4.1%	2.7%
米州	11	-	-	-
欧州	27	-	-	-
アジア他	159	-	-	-
日本	4	-	-	-
事業セグメント利益	11	46	327.7%	-
営業利益	12	46	288.6%	-



ニッセイ事業

(億円)

	FY24	FY25予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	200	220	10.0%	13.1%
米州	31	-	-	-
欧州	-	-	-	-
アジア他	29	-	-	-
日本	140	-	-	-
事業セグメント利益	5	5	-3.9%	-
営業利益	0	5	-	-

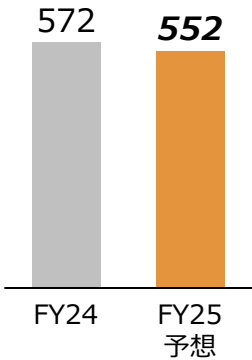


パーソナル&ホーム事業 (億円)

	FY24	FY25予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	572	552	-3.5%	3.2%
米州	346	-	-	-
欧州	139	-	-	-
アジア他	57	-	-	-
日本	28	-	-	-
事業セグメント利益	73	58	-20.8%	-
営業利益	67	58	-13.0%	-

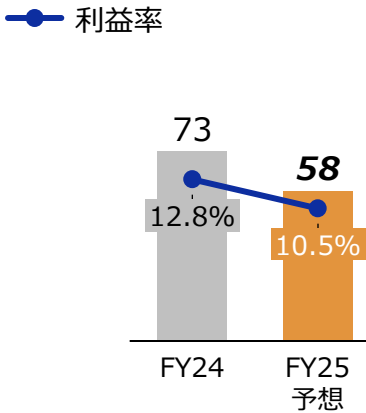
売上収益

(億円)



事業セグメント利益

(億円)

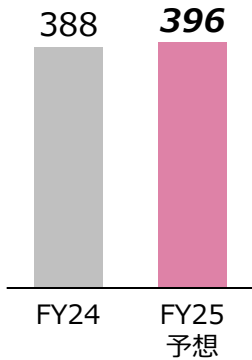


ネットワーク&コンテンツ事業 (億円)

	FY24	FY25予想	対前年 増減率
売上収益	388	396	2.1%
事業セグメント利益	19	22	13.8%
営業利益	20	22	9.7%

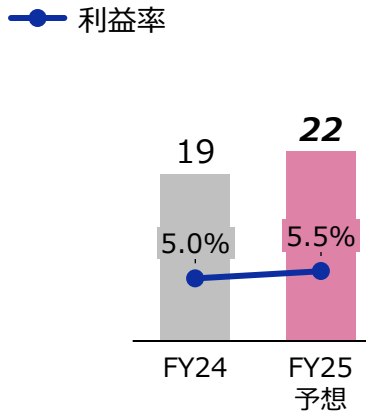
売上収益

(億円)



事業セグメント利益

(億円)



参考資料

生産拠点は東南アジアが多く、全社における米国売上比率は20%強。売上規模としてはP&S事業が多くを占める

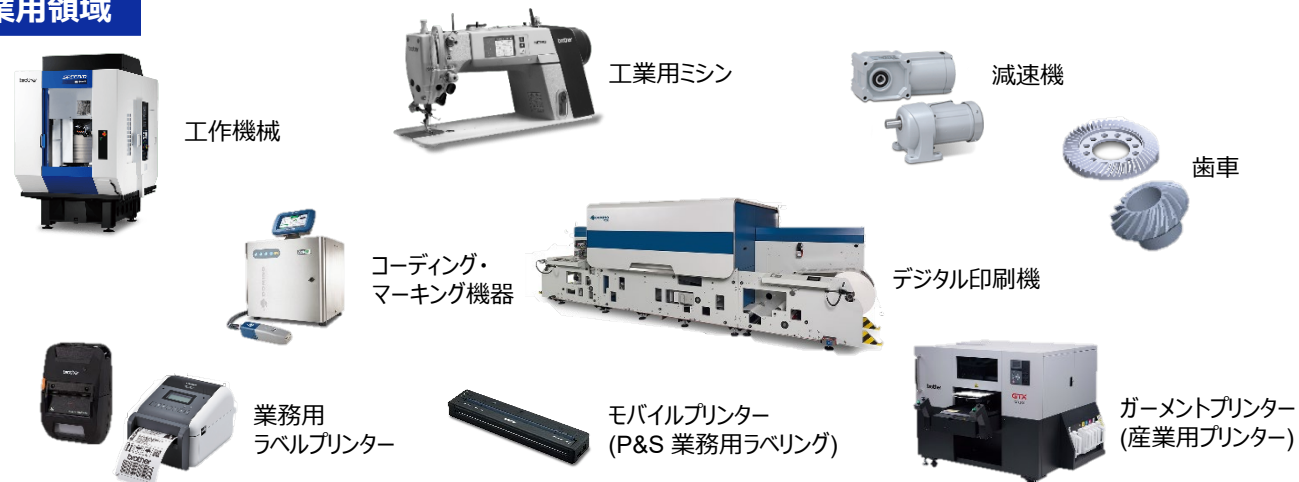
事業（新セグメント）		主な製品	主な生産拠点	米国売上比率 （24年度実績）
P&S プリンティング & ソリューションズ	通信・ プリンティング	レーザー製品	ベトナム、中国(一部のみ)	30%弱
		インクジェット製品	フィリピン	
	ラベリング	ラベリング製品	中国、フィリピン	
IP インダストリアル・ プリンティング	ドミノ	コーディング・マーキング機器 デジタル印刷機	英国、中国	20%弱
	産業用プリンター	ガジェットプリンター	日本	約50%
マシナリー	産業機器	産業機器	日本、中国(中国市場向け) インド(インド市場向け)	一桁半ば%
	工業用マシン	工業用マシン	中国	
ニッセイ		減速機・歯車	日本	約15%
P&H パーソナル & ホーム		家庭用マシン	台湾、ベトナム	約50%
N&C ネットワーク & コンテンツ		通信カラオケ機器	日本	なし
全社		-	-	20%強

ビジネスの領域

事業名		サブセグメント	
産業用領域	マシナリー	産業機器	
		工業用マシン	
	ニッセイ		
	IP (インダストリアル・ プリンティング)	ドミノ	
		産業用プリンター	
	民生用領域	業務用ラベリング	
P&S (プリンティング & ソリューションズ)		汎用ラベリング	
		通信・プリンティング	
P&H (パーソナル&ホーム)			
N&C (ネットワーク&コンテンツ)			
新規事業			

製品・サービス群

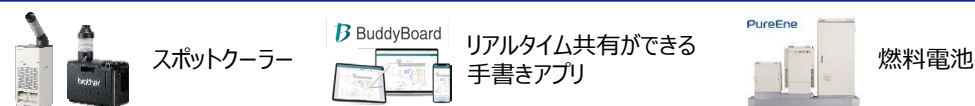
産業用領域



民生用領域



新規事業



brother
at your side